

シーシーエス株式会社
2014年7月期第1四半期
決算説明



2013年12月11日

JASDAQ コード6669

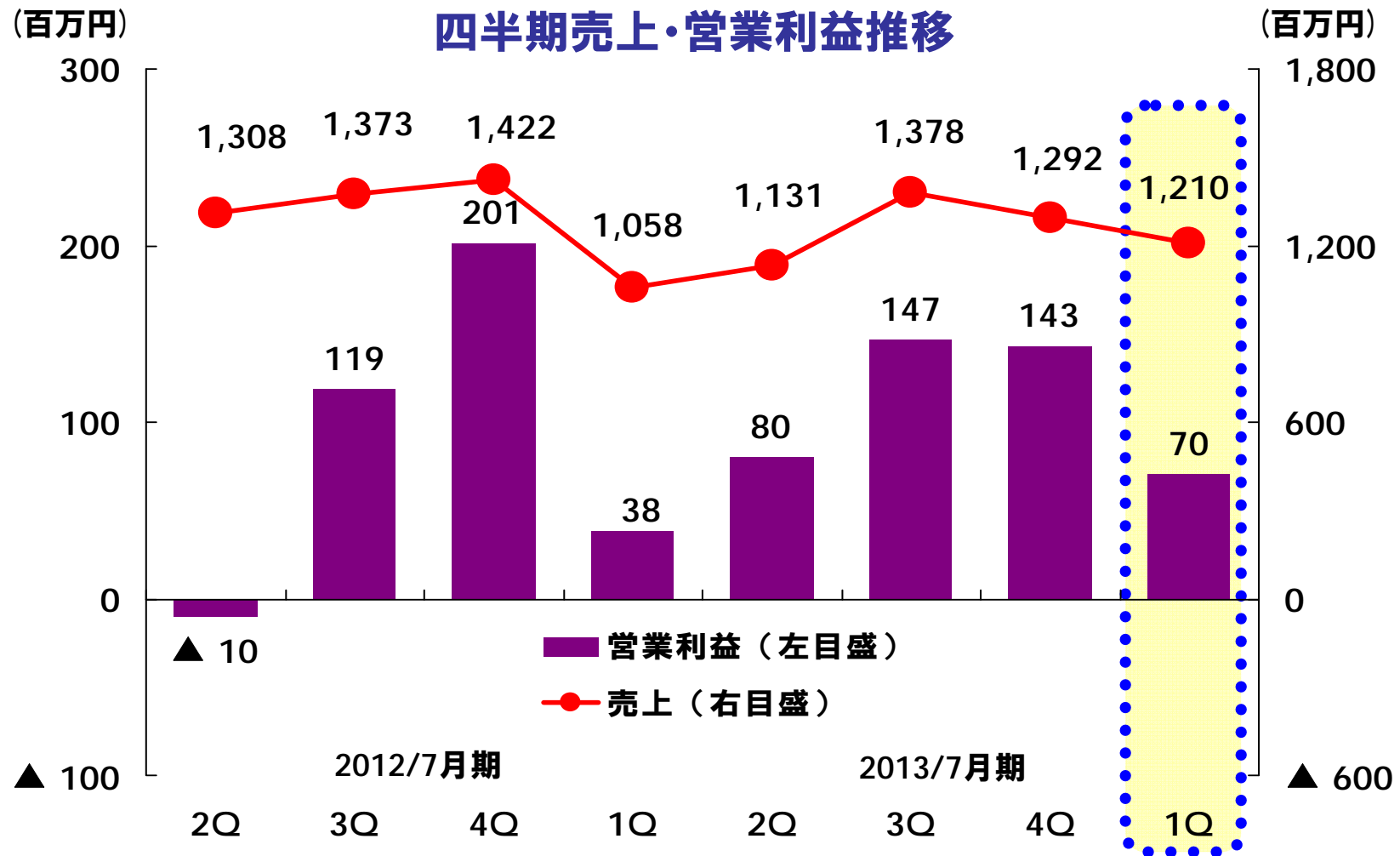
目次

1. 2014年7月期 第1四半期 決算概要
2. 2014年7月期 事業分野別の状況
3. 参考資料～会社概要

1. 2014年7月期 第1四半期 決算概要

決算ハイライト

前年同期比 売上+14.4%、営業利益+84.5%の増収増益



決算キーポイント

2013年7月期1Q			2014年7月期1Q	
売上高	:1,058百万円	➡	売上高	:1,210百万円
営業利益	: 38百万円		営業利益	: 70百万円

売上・営業利益とも前年より増収・増益

売上高: +152百万円 営業利益: +32百万円

前年同期比

+14.4%

前年同期比

+84.5%

◆増収の要因

➤ 海外 既存MV事業の売上好調と為替効果

	2013年7月期1Q	2014年7月期1Q	増収分	為替
欧州	1,478 千ユーロ	→1,558 千ユーロ	+8百万円	+49百万円
北米	1,317 千ドル	→1,558 千ドル	+18百万円	+30百万円






➤ 新規事業部門が売上好調

	2013年7月期1Q	2014年7月期1Q	増減
売上	54 百万円	→ 104 百万円	+91.7%

2014年7月期 1Q 連結業績

(単位:百万円)

	2013/7月期 1Q		2014/7月期 1Q		増減	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/[A]-1 (%)
売上高	1,058	100.0	1,210	100.0	+152	+14.4
売上総利益	649	61.4	730	60.3	+81	+12.5
販管費	611	57.8	660	54.5	+49	+8.0
営業利益	38	3.6	70	5.8	+32	+84.5
経常利益	21	2.0	55	4.6	+34	+164.9
当期純利益	15	1.4	39	3.3	+24	+161.0

	前年同期比	キーポイント
売上高		MV事業回復と為替効果により、売上増加
売上総利益		利益率は前期比-1.1ポイント
販管費		為替の影響で増加
営業利益		利益率は前期比+2.2ポイント
当期純利益		利益率は前期比+2.1ポイント

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

資産	13/7 期末	14/7 1Q	負債・純資産	13 /7 期末	14/7 1Q
現金及び預金	2,043	1,865	流動負債	1,913	1,777
受取手形及び売掛金	1,200	1,094	固定負債	1,070	912
たな卸資産	970	978			
その他	137	139			
流動資産合計	4,350	4,078	負債合計	2,983	2,689
有形固定資産	996	984	資本金	462	462
無形固定資産	57	53	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	323	324	利益剰余金	845	831
			為替換算調整勘定	▲23	▲2
固定資産合計	1,377	1,368	純資産合計	2,744	2,751
資産合計	5,728	5,440	負債・純資産合計	5,728	5,440

借入金の返済により、現預金および流動負債・固定負債が減少しました。

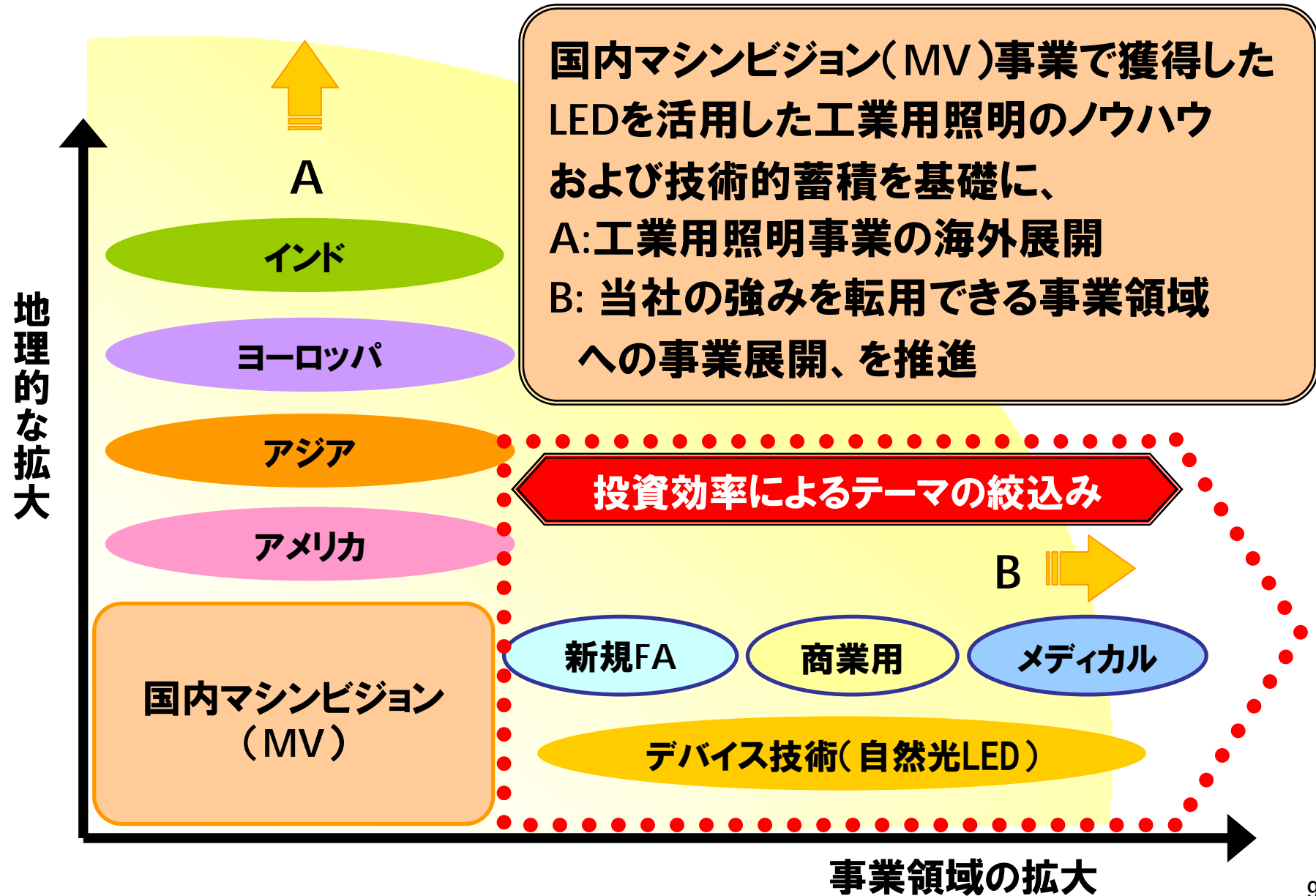
2. 2014年7月期 事業分野別の状況

①事業推進の考え方

②工業用照明事業

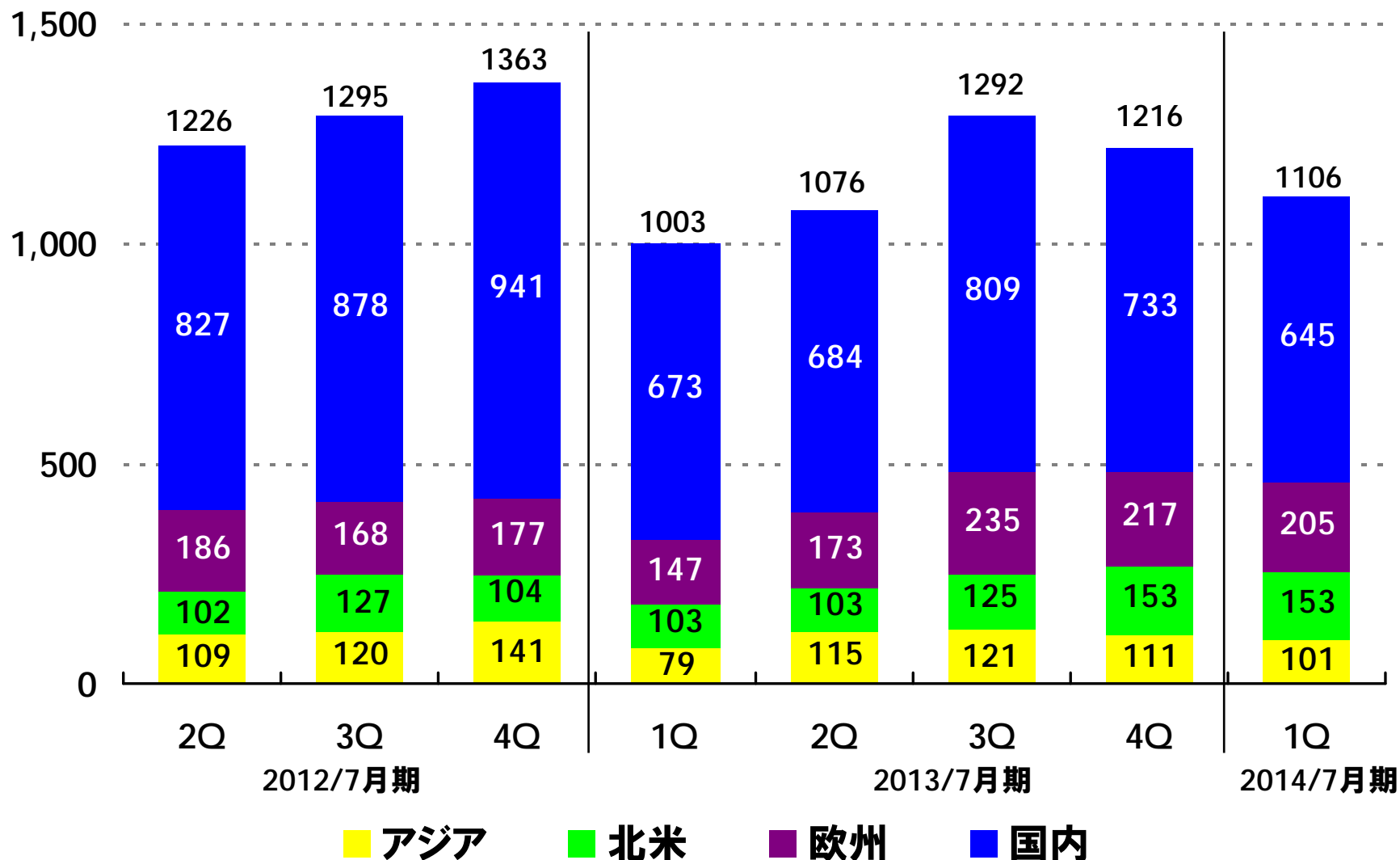
③新規事業

① 事業推進の考え方



②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円) (2012年7月期～2014年7月期)

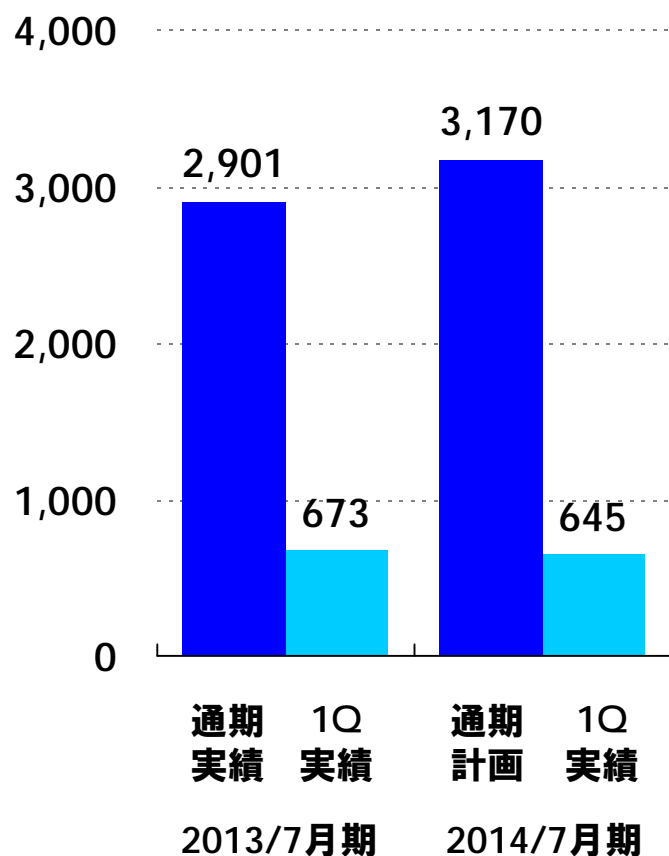


※前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため
2012年7月期、2013年7月期の実績数値を調整しています

②工業用照明事業 国内

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



※ 前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

第1四半期トピックス

■自動車向け売上が好調

国内工業用照明事業のうち、特に自動車向け業界が活発。自動車向け装置メーカー等も好調。三品業界(食品・薬品・化粧品)向けも堅調に推移、既存工業用照明事業は勢いを取り戻している。

■新規事業領域は受注の谷に

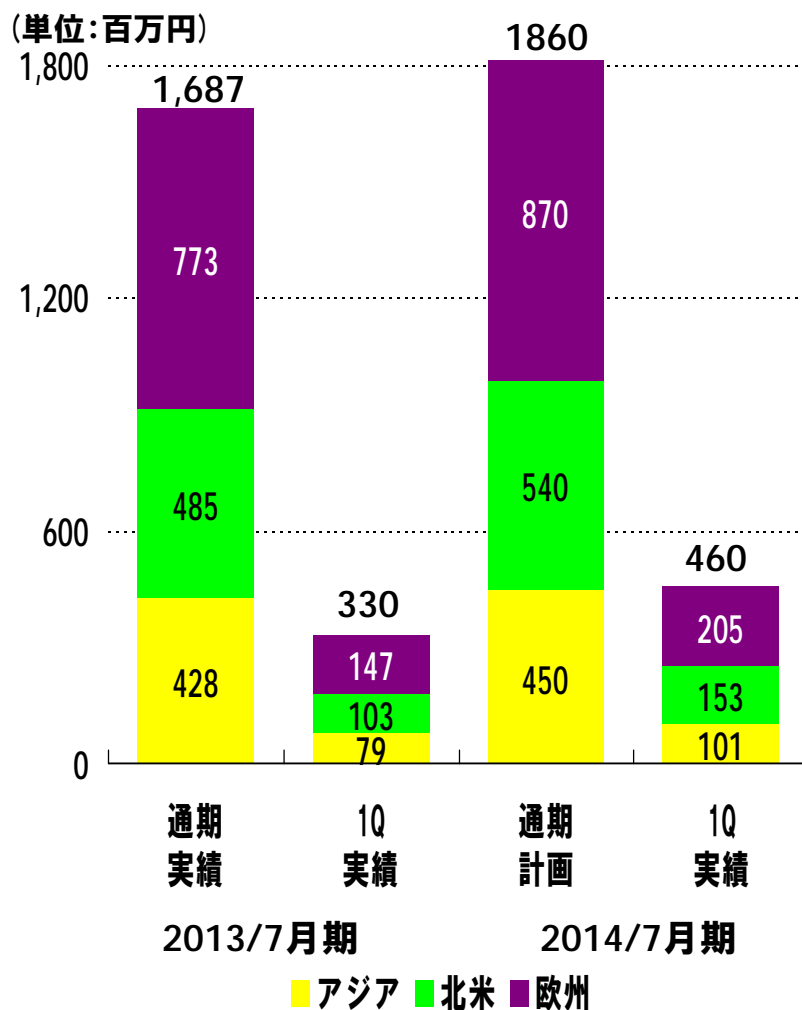
全体としての設備投資の動きはまだ鈍く、新規事業領域であるラインセンサ用照明、UV照射器事業が苦戦した。大口案件は増加中であるが、受注となるまでに時間がかかる。

■2Q以降の工業用照明事業は

自動車向け業界は、今後も引き続き好調の見込み。1Qにおいてはスマートフォン向けの案件は少なかったが、また引き合いは増えてきている。全体として、受注は堅調に推移する見込み。

②工業用照明事業 海外

計画と実績 前期比較



第1四半期トピックス

■欧州：景気は不透明ながら売上回復
 主要顧客であるPC業界の不振の影響を受け、電子部品や半導体業界への売上が減少したものの、三品業界向けや画像処理装置メーカーへの売上が伸び、現地通貨ベースでも売上は増加。

■北米：代理店構築の成果
 主要顧客への関係強化および営業強化が実を結び、売上伸長。画像処理装置メーカーが主要顧客。自動車産業が多く集まる中部・南部アメリカへのアプローチも強化している。

■アジア：CCS製品の評価UP
 中国のメーカーの品質に対する意識が高まり、CCSの製品が見直されるようになり徐々に売上は回復傾向。自動車業界が特に活発である。

<2013/7月期1Qレート>

1USD=78.64円 1EUR=100.02円 1SGD=63.66円

<2014/7月期1Qレート>

1USD=98.27円 1EUR=132.02円 1SGD=78.02円

シェア拡大のための商材の充実化

①画像処理用テレセントリックレンズ (2013年8月発売)



テレセントリックレンズ WD 110mm

レンズと照明をセットで提供

高精度な寸法計測やパターン認識等に最適
照明とレンズをセットで販売することで
最適なソリューションをご提案

②防水リング照明 HLDR-IPシリーズ (2013年10月発売)

製造ラインの洗浄が不可欠な現場に！水濡れOKのLED照明

HLDR-IPシリーズ

IP67規格に適合した防水・防塵照明を
初ラインナップ



HLDR-IPシリーズ

②工業用照明事業 施策

断トツトップシェア獲得のため推進している施策

①顧客対応スピードの改善

顧客からの要求に対し、すぐに営業部門トップへ上げる
営業・技術・生産それぞれの部門トップで納期・仕様について協議し
全社を上げて対応に取り組むことを徹底

②シームレスな製品企画に注力

顧客ニーズの進化に追随する現場密着型マーケティングの徹底
製品企画ロードマップの日常的ブラッシュアップ

③製品開発への取組み

顧客が本当に要求している製品・仕様・価格の追求
重要案件は「社長プロジェクト」とし、明確な納期のもと、徹底して取り組む

②工業用照明事業

中国マシンビジョン市場

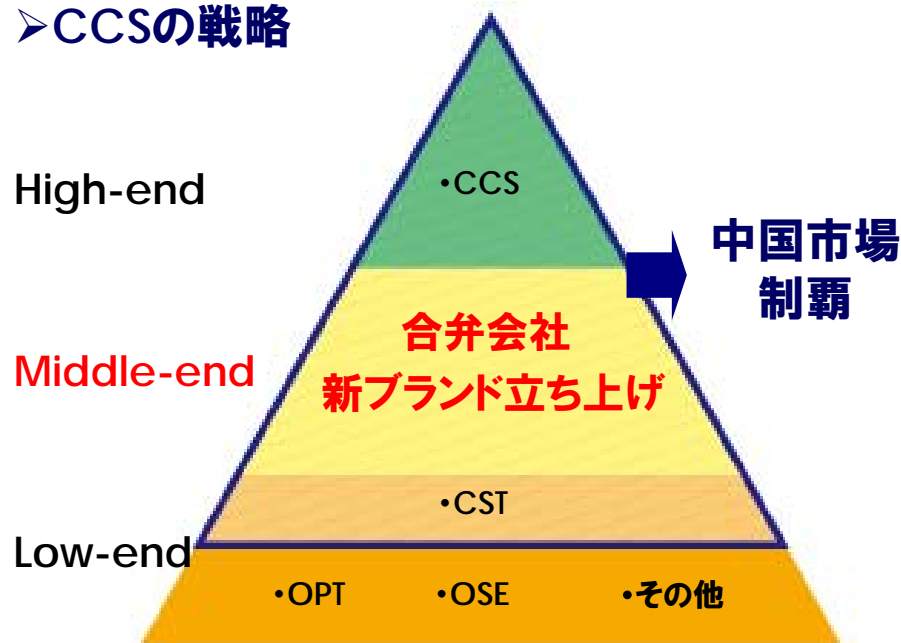


CST社との合併会社設立による中国市場の押さえ込み

2013年11月25日発表

- 品質重視 : 品質要求の高まりによる検査機器の需要の増加
- 人件費削減 : 人件費の上昇に対応するため、マシンビジョンによる生産効率の向上
- 今後の予定 : 2013年12月 合併会社設立
2014年1月 合併会社営業開始

➤CCSの戦略



2012年 中国マシンビジョン照明市場

	売上 (百万元)	構成比 (%)
OPT	47	43.5
CST	31	29.0
CCS	16	14.5
OSE	6	5.8
その他	8	7.2
合計	108	100.0

43.5%

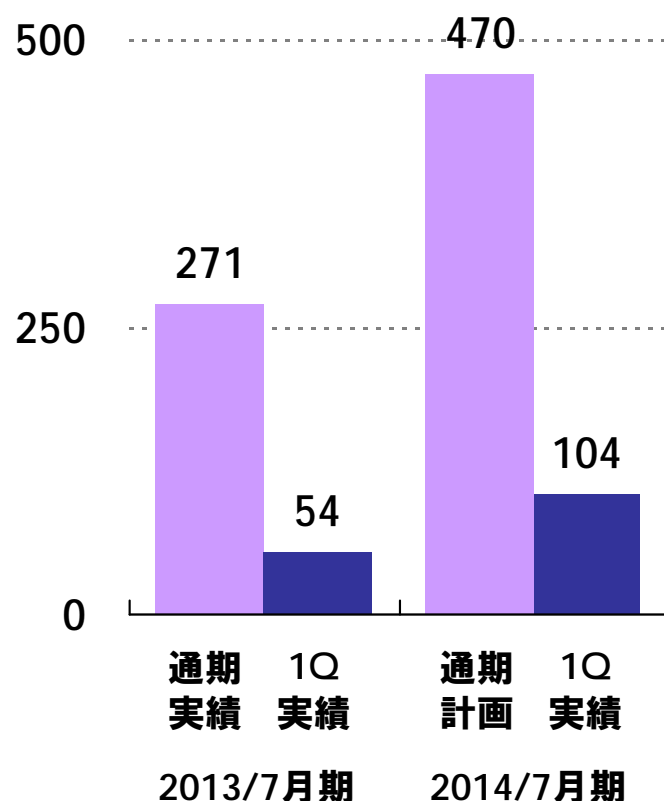
連合軍で
シェア
奪還へ

*当社推計

③新規事業

計画と実績 前期比較

(単位:百万円)



※ 前期まで工業用照明に分類していた特定顧客向けデバイス事業を、今期より新規事業に移管したため、2013年7月期の実績数値を調整しています

第1四半期トピックス

■デバイス事業

自然光LEDおよびUVLEDデバイスの案件多数
ネイル硬化用光源、歯科重合用光源など
実績をもとに引き合いが増加

■美術館・博物館分野

CCS照明の導入館は、50を超え、
全国多数の館に広がりつつある。
今後、製品の充実化によりトータルでの
照明の提案を進める。

■メディカル分野

全国の代理店に営業展開中、構築が進む
薬品メーカー、医療用顕微鏡メーカーとも
連携して営業を強化している。

■アグリバイオ分野(フィリップスLED照明)

全国の植物工場等に対し、営業展開中
大口案件の受注が好調。

③新規事業 デバイス事業

CCSのデバイス商材：「自然光LED」、「UV-LED」

～ デバイス事業の歩み ～

- ・2012年、100W電球やデスクスタンドなどの最終製品の開発・販売を中止
- ・開発した自然光LED・UV-LEDを必要とする企業へ、光源として供給していく
- ・トップメーカーへの供給、継続的に利益の見込める企業に厳選

1件あたりの年間売上は多くはないが
数件になれば大きな売上になる **かずのご経営**を目指す



・デバイス 実物



CCSデバイス
使用の製品



・LEDフォロースポットライト



・顕微用光源



・ネイルジェル硬化用

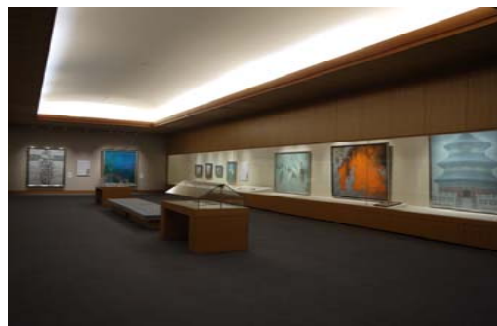
CCSは、独自に開発した自然光LED、UV-LEDをデバイス商材として、事業領域の拡大を目指します

③新規事業 美術館・博物館用照明

CCSの“自然光LED”が続々導入



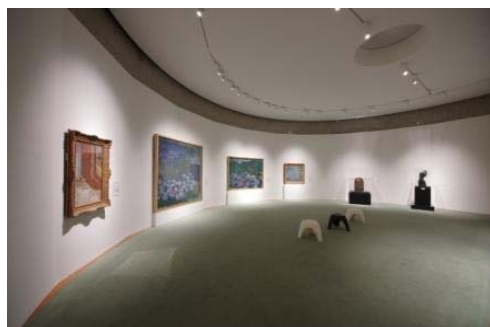
■ 京都府立堂本印象美術館（2013年9月）



■ 富山県水墨美術館（2013年7月）



■ 當麻寺 特別拝観（2013年4月）
～灯荘殿～LEDで拝する當麻寺のみほとけ



■ 大山崎山荘美術館（2012年10月）



■ 株式会社川島織物セルコン 織物文化館
（2012年10月）



■ 山口県立美術館（2012年4月）

■ その他の導入館（一部）

島根県立古代出雲歴史博物館	2013年11月	北九州市立美術館	2013年3月
MIHO MUSEUM	2013年8月	都城市立美術館	2012年11月
出光美術館	2013年3月	下関市立美術館	2012年7月

1. 経営基盤の強化

- 1) 積極的なアライアンスによる売上/利益規模の追求
- 2) 収益力強化・収益率向上
- 3) 組織の戦力化

2. MV事業の強化と新規事業の堅実拡大

- 1) 総合力強化によるCCSブランド絶対的優位性の確立
- 2) 中国など海外市場への攻勢を強めて断トツシェア奪取
- 3) 出口を見据えた新規事業展開

3. 開発力の強化と革新

- 1) マーケティング力とシームレスに製品を生み出す企画力UP
- 2) 顧客要求のQCDへ満額回答出来る技術・生産力の強化
- 3) ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

21期 全社スローガン

弛まぬ**変革**と飽くなき**挑戦**

3. 参考資料 ～会社概要～

Creative Customer Satisfaction

社是 : 『お客様に愛と感謝』

基本理念: 『光を科学し、社会に貢献する』

行動指針: 『すべてはお客様のために』

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 462百万円
- 従業員数 205名(連結)、185名(単体)
- 発行済株式総数
普通株式 20,690株
A種優先株式 5,103株
- 株主数
普通株式 2,509名
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe N.V./CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
- 拠点数 国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 7ヶ所



本社(京都市上京区)

(2014年7月末現在)

沿革

- 1993 シーシーエス株式会社を資本金1,000万円で設立
- 1999 CCS America ,Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設
- 2001 本社移転(現所在地)
- 2003 上海駐在員事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
- RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
- CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2007 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
- 仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)
- KRPで研究開発事務所を開設(京都市下京区)
- 山口大学との共同開発で「自然光LED」照明を開発
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)
- 深セン駐在員事務所を開設(中国広東省深セン市)
- 名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)
- 2009 連結子会社であるRDV(S)PTE .LTD.の商号をCCS Asia PTE.LTD.へ変更
- 医療機器製造業および第三種医療機器製造販売業に関する許可を取得
- 2010 CCS Asia PTE.LTD.バンコク駐在員事務所を開設(タイ・バンコク)
- 2011 CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立(インド)
- 2012 医療用LED照明の開発・販売、医療分野へ参入

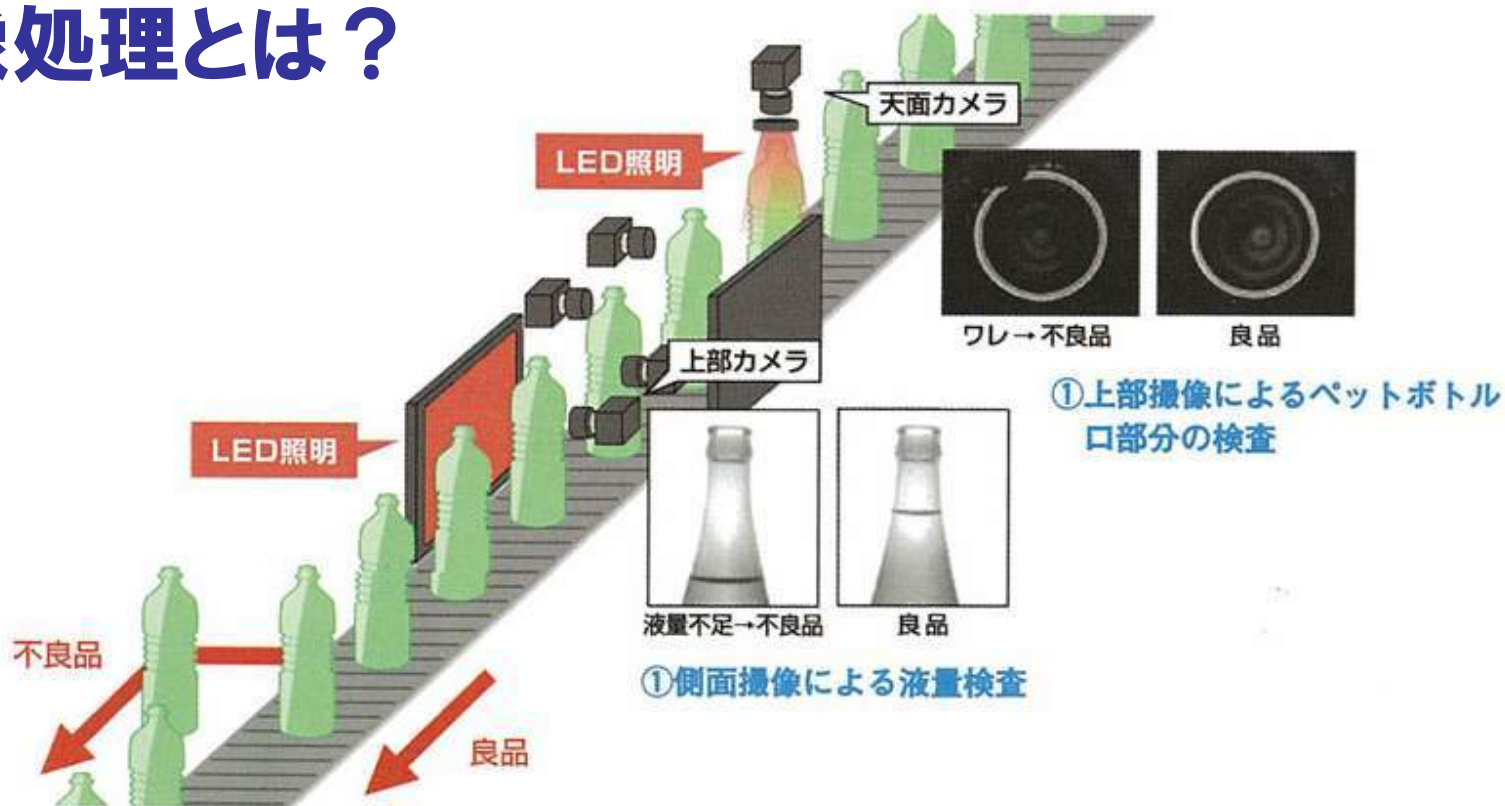
参考資料:LED開発の歩み

- 1962年 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
- 光の三原色がそろそろ
- 1996年 白色が開発
- 現在 発光効率の向上
- 高演色性白色の開発

シーシーエスの主力事業

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

画像処理とは？

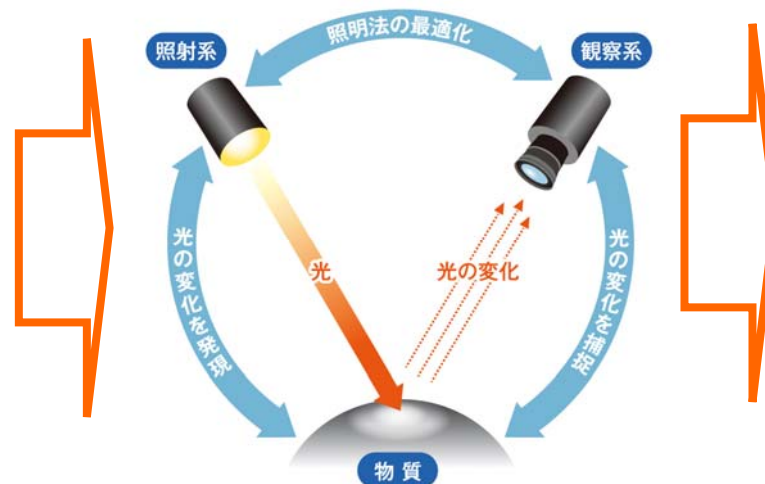


ライティングソリューションの重要性

<照明法の最適化>



流通している硬貨。
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が技術・ノウハウである、
「ライティングソリューション」です。

信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、数千台に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

シーシーエスの事業領域

新規事業分野



商業分野

美術館・博物館用照明



工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

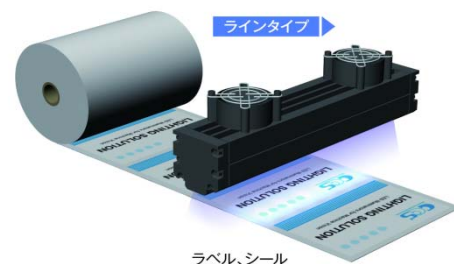


新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)

■ UVインクの硬化



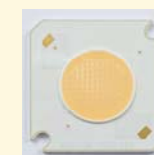
メディカル分野



アグリバイオ 分野

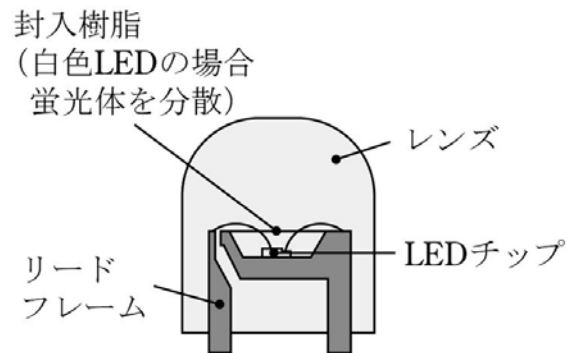


デバイス 分野

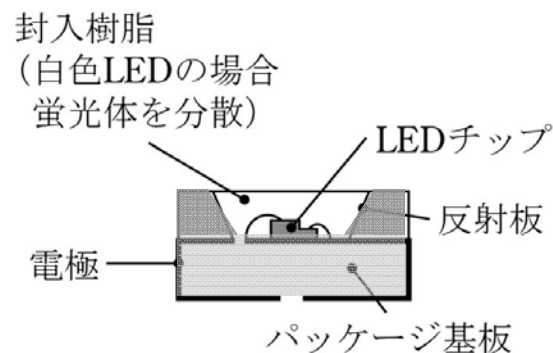


LEDの種類と構造

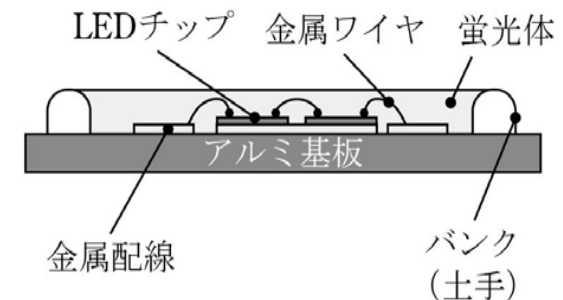
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

* 参照: 社会法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

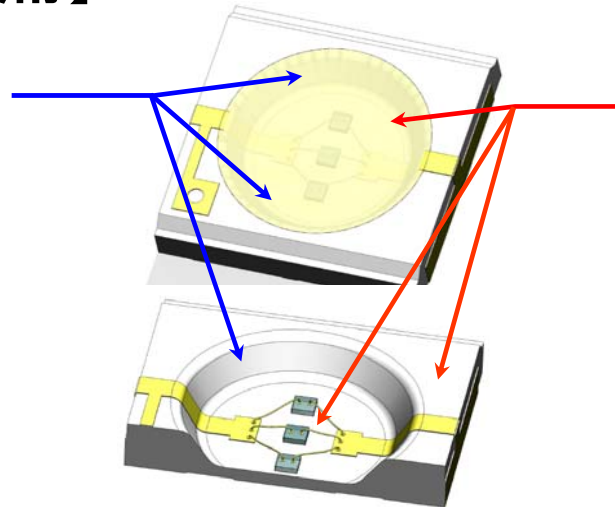
シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

LEDデバイス技術

【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化
【封止樹脂】
材料特性、表面形状の最適化
【リフレクタ形状最適化】
壁面高さ、角度、高反射率



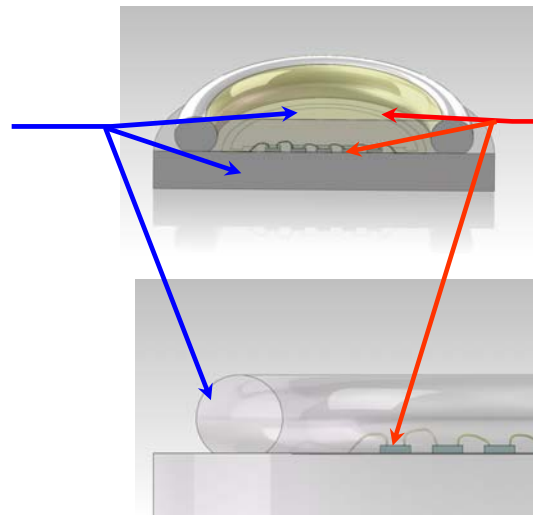
長寿命化

【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上
【ボンディング材料】
耐熱・耐光性向上、高放熱性
【パッケージ材料】
高反射率、高放熱性

【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】
材料及び封止方法の最適化
【ダム材】
高反射率、成型化
【基板材料】
高反射率、高放熱



長寿命化

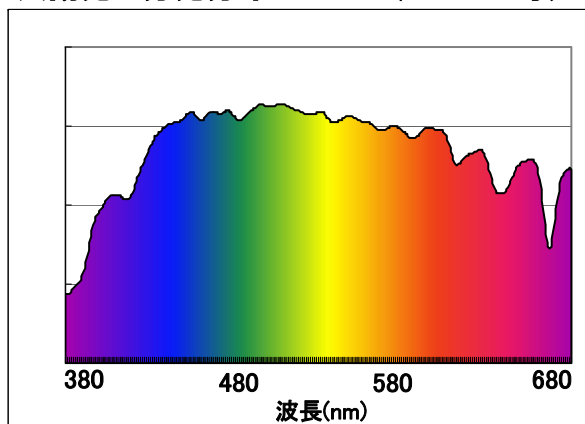
【封止樹脂】
耐熱・耐光性向上
【実装パターン】
狭ピッチ、高反射率
【ボンディング材料】
耐熱、耐光性向上、高放熱性

「自然光LED」とは

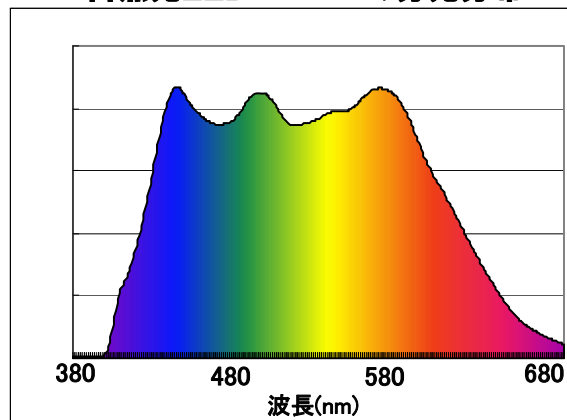


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数*において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)

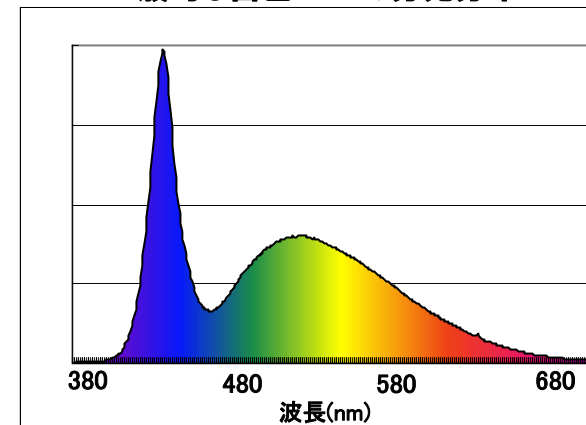


“自然光LED5000 K”の分光分布



太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現

一般的な白色LEDの分光分布



青色LEDの青が極端に強い

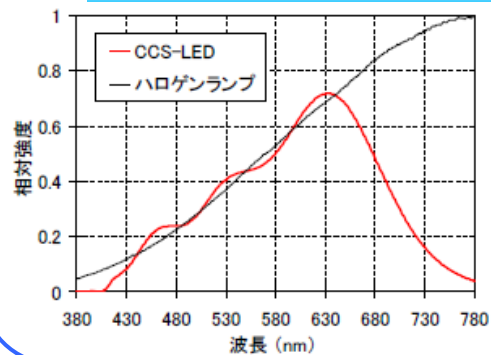


肌の色も自然に美しく魅せることができます

文化財保存修復学会 第35回大会 2013年7月

▶▶ P043 高演色性と低損傷性を兼ね備えたLED照明の開発と評価

ハロゲンランプと同等の分光分布を持つLED

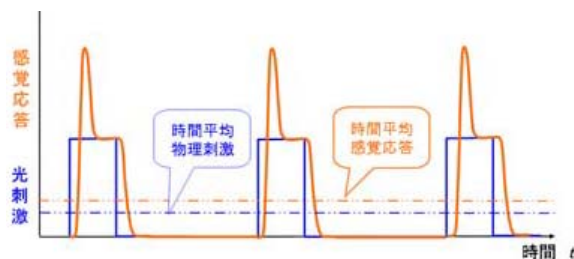


ハロゲンランプと比べて突出したピーク成分を持たず、損傷性の高い紫外線や、赤外線を含まない。

ハロゲンランプと同等の分光特性を持つLEDを開発し、高演色性と低損傷性を実験・理論的解析によって証明された。

▶▶ P044 文化財用低損傷パルス駆動LED照明

パルス駆動LED照明



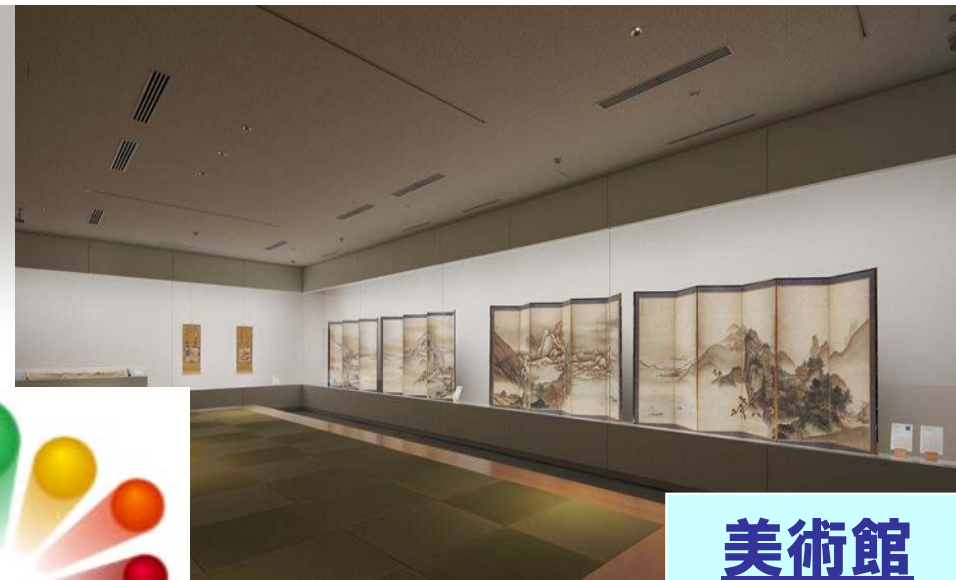
Broca-Sulzer効果によって、実際の直流駆動よりも、明るく感じさせることができる。

LED照明をパルス駆動することにより、肉眼での明るさ感を確保したまま、展示物への損傷を低減できることが検証された。

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡



美術館

生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います！
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。

自然光LED	従来の白色LED	電球灯

食品



ホテル・会場

設備投資・減価償却・研究開発費の推移



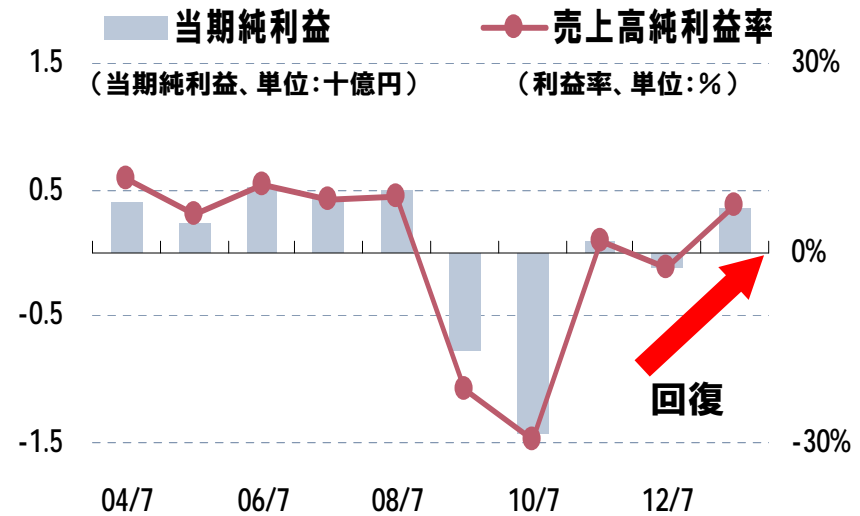
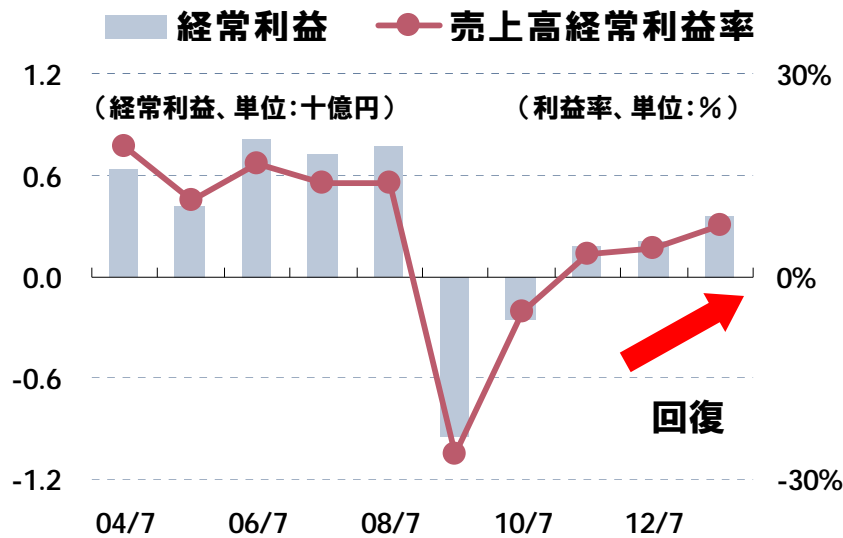
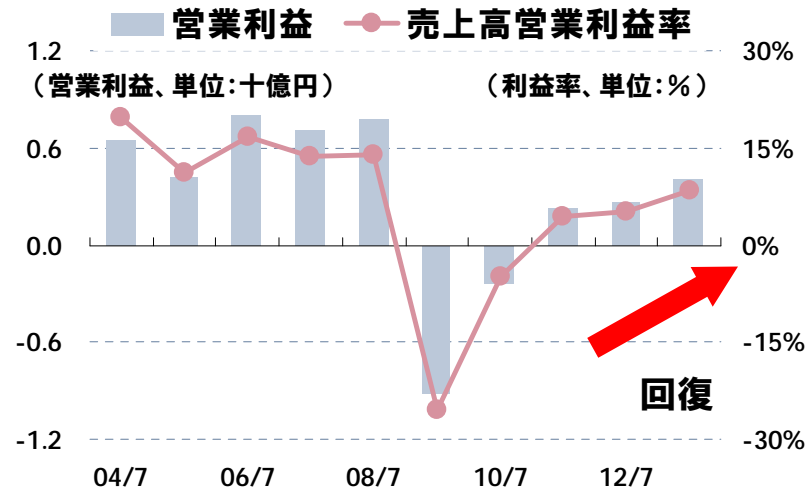
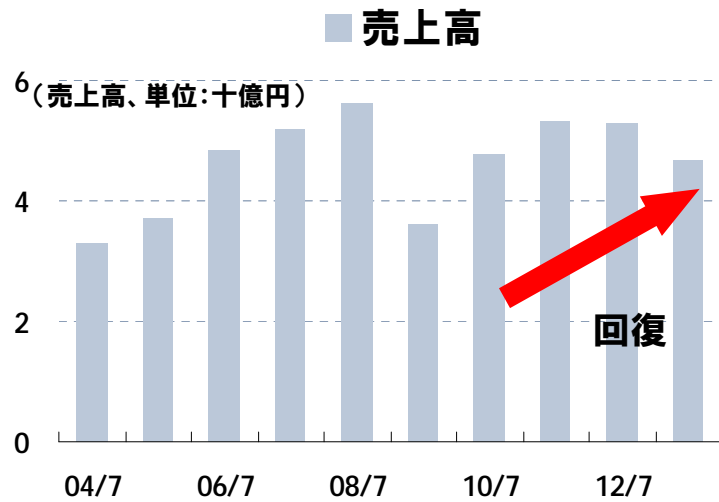
(単位:百万円)

	11/7 通期	12/7 通期	13/7 通期	14/7 通期	14/7 通期計画
設備投資	80	94	128	20	379
有形固定資産	61	77	103	19	245
無形固定資産	19	17	24	0	134
減価償却	166	145	124	37	170

(単位:百万円)

	11/7 通期	12/7 通期	13/7 通期	14/7 通期	14/7 通期計画
研究開発費	684	570	449	104	554
対売上比率	12.9%	10.8%	9.3%	8.67%	10.1%

業績・財務指標の推移(1)



業績・財務指標の推移(2)

